

JIS

防せい（鋳）油

JIS K 2246 : 2026

(JACC/JSA)

令和 8 年 1 月 20 日 改正

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	田 辺 新 一	早稲田大学
(委員)	安 部 泉	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	江 坂 行 弘	一般社団法人日本自動車工業会
	大 瀧 雅 寛	お茶の水女子大学
	奥 野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	片 山 英 樹	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	鐘 築 利 仁	一般財団法人日本規格協会
	鎌 田 敏 郎	大阪大学
	倉 片 憲 治	早稲田大学
	越 川 哲 哉	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	小 山 明 男	明治大学
	是 永 敦	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	椎 名 武 夫	千葉大学
	寺 家 克 昌	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	高 津 章 子	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	高 辻 利 之	一般社団法人日本計量機器工業連合会
	田 淵 一 浩	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	俵 木 登美子	一般社団法人くすりの適正使用協議会
	水 流 聡 子	東京大学
	廣 瀬 道 雄	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	細 谷 恵	主婦連合会
	増 井 慶次郎	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	山 内 正 剛	国立大学法人信州大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 55.1.1 改正：令和 8.1.20

官 報 掲 載 日：令和 8.1.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本防錆技術協会

(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 TEL 03-3434-0451)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 田辺 新一)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省イノベーション・環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	3
4 種類	5
5 品質及び性能	6
6 試験方法	10
6.1 一般事項	10
6.2 試料採取方法	10
6.3 試験片に関する共通事項	10
6.4 さび発生度測定方法	12
6.5 引火点試験方法	13
6.6 流動点試験方法	13
6.7 動粘度試験方法	13
6.8 粘度指数算出方法	13
6.9 粘度変化試験方法	13
6.10 沈殿価試験方法	13
6.11 炭化水素溶解性試験方法	14
6.12 銅板腐食試験方法	14
6.13 泡立ち試験方法	14
6.14 酸化安定度試験方法	14
6.15 融点試験方法	14
6.16 ちょう度試験方法	14
6.17 蒸発量試験方法	14
6.18 酸素吸収性試験方法	15
6.19 膜厚試験方法	16
6.20 乾燥性試験方法	17
6.21 流下点試験方法	18
6.22 低温付着性試験方法	19
6.23 除膜性試験方法	20
6.24 摩損性試験方法	22
6.25 揮発性物質質量試験方法	22
6.26 分離安定性試験方法	23
6.27 噴霧性試験方法	24
6.28 腐食性試験方法	25
6.29 水置換性試験方法	27

	ページ
6.30 酸中和性試験方法	28
6.31 指紋除去性試験方法	29
6.32 取扱い防食性試験方法	31
6.33 透明性試験方法	32
6.34 湿潤試験方法	32
6.35 中性塩水噴霧試験方法	34
6.36 耐候性試験方法	35
6.37 包装格納試験方法	36
6.38 塩水浸せき試験方法	39
6.39 気化性防せい性試験方法	40
7 製品の呼び方	42
8 表示	42
解 説	43

まえがき

この規格は、産業標準化法第 16 条において準用する同法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本防錆技術協会（JACC）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を改正すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本産業規格である。これによって、**JIS K 2246:2018** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

白 紙

防せい（錆）油

Rust preventive oils

1 適用範囲

この規格は、鉄鋼を主とした金属材料及び金属製品のさびの発生を、一時的に防止するために用いる防せい（錆）油（以下、防せい油という。）について規定する。

警告 この規格に基づいて試験を行う者は、通常の実験室での作業に精通していることを前提とする。この規格は、その使用に関連して起こる全ての安全上の問題を取り扱おうとするものではない。この規格の利用者は、各自の責任において、安全及び健康に対する適切な措置をとらなければならない。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

- JIS B 7753** サンシャインカーボンアーク灯式の耐光性試験機及び耐候性試験機
- JIS B 9809** スプレーガン
- JIS G 3108** みがき棒鋼用一般鋼材
- JIS G 3141** 冷間圧延鋼板及び鋼帯
- JIS G 4305** 冷間圧延ステンレス鋼板及び鋼帯
- JIS G 4308** ステンレス鋼線材
- JIS H 3100** 銅及び銅合金の板及び条
- JIS H 4000** アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条
- JIS H 4080** アルミニウム及びアルミニウム合金継目無管
- JIS H 4201** マグネシウム合金板及び条
- JIS H 4301** 鉛板及び硬鉛板
- JIS H 4554** ニッケル及びニッケル合金の線と引抜素材
- JIS H 8611** 電気カドミウムめっき
- JIS H 8617** ニッケルめっき及びニッケルクロムめっき
- JIS K 1101** 酸素
- JIS K 1503** アセトン
- JIS K 2201** 工業ガソリン
- JIS K 2220** グリース